

別記様式(第7条関係)

会 議 録

- 1 会議の名称 富士川町歴史文化施設資料館検討委員会
- 2 会議日時 令和3年12月22日(水) 15時30分から17時まで
- 3 開催場所 富士川町教育文化会館 3階会議室
- 4 出席者数 (1) 委員 10名
(2) 事務局 7名(うち企画設計業者3名)

- 5 議題 展示レイアウトについて
 - ・ 前回までの意見の反映結果について
 - ・ 展示品や全体の流れについての最終確認

6 委員会内容

- (1) 開会
- (2) 委員長あいさつ
- (3) 議事
 - ①展示レイアウトについて
 - ②その他
- (4) 閉会

7 発言の内容

①展示レイアウトについて(前回までの意見の反映結果について)
設計者 資料をもとに、これまでの意見を反映した展示内容を説明する。

委 員 地図が山梨県側も静岡県側も旧町名になっている。

委 員 現在の町名で統一したほうがいいのではないか。

設計者 現在の自治体名に修正する。

事務局 展示内容の中に漢字が多く使われるが、振り仮名はどの程度必要なのかご意見いただきたい。

委員 一般的に小学生で習う漢字には振り仮名は不要である。中学生以上で習う漢字や読みにくい人名には振り仮名が必要。パネルの文字数が多すぎるので煩雑に感じる。特に複合年表の部分は中央の世界史と日本史の内容が富士川舟運の内容に比べて多いので主な歴史に絞り込むことで振り仮名を振るスペースも出てくると思う。

事務局 振り仮名を振る漢字の選別は学校の先生方にもご協力いただきたい。

委員 複合年表の子ども向けコラムの部分にオリジナルキャラクターとあるが、ボタンか何かがあり、音声での説明になるのか。

設計者 このキャラクターはトーキング角倉了以とは別で、ボタンでの音声説明はない。壁面に、角倉了以と素庵を二頭身ぐらいのキャラクターによる、クイズ形式の説明をプリントすることを考えている。

委員 学校現場で子ども達が富士川舟運の何を学び、どのようにまとめるかの資料を本日持って来た。この資料を検討の参考資料にしていきたい。その中で、子ども向けコラムの部分に「徳川家康の命？それとも…」という疑問が展示内容として掲載されているが、この設問の答えはどう考えているか。学校現場においても、ある方から富士川舟運は当初は御廻米の運搬を目的として整備されたのではないのではないか、徳川家康の命なのかという疑問を投げかけられている。

設計者 大前提としては、幕府の命によりという答えであると考えている。角倉家は舟運事業を手掛けることで繁栄してきたので意向が合致して富士川舟運も請け負ったと考えている。

委員 徳川家康の命で角倉了以が富士川舟運の開削をしたと言われているが仲介役として大久保長安がいる。富士川町にも縁がある方で、大久保地区の由来も大久保長安が関係している。大久保長安は、他の舟運事業にも関係しており、金山の発掘にも活躍していた。

委員 舟頭の衣服を着て写真が撮れるという提案があるが、イメージ写真が富士川舟運の舟頭の衣服とは違う。

事務局 舟頭の当時の写真があるので情報提供する。

①展示レイアウトについて（展示品や全体の流れについての最終確認）

事務局 前回の展示資料一覧の中の（A）に分類した資料を展示すること、施設の順路を説明し、最終確認をお願いします。

委員 富士川の各支流からは材木を流して運んでいた。支流も含めた歴史で考えると舟運ではなく水運が適切だと思う。

委員 展示資料はどこに展示されるのか。複合年表や舟運の紹介パネルの前に展示されるというイメージでよいか。

設計者 パネルの前に展示するイメージである。

委員 シアターでは、舟に乗っているような体験ができる映像が流れるのか。

設計者 3種類ぐらいの映像を流せたらと考えている。舟に乗っているような映像も流したいと考えている。

委員 トーキング角倉了以はどこに配置されるか。

設計者 東側の壁面に1体、南側の壁面に2体を予定している。

委員 シアターの映像は常に流れている状態なのか。それとも、何時から上映しますというように時間を指定するのか。

設計者 今のところ常に流すことを想定しているが、時間を区切って上映することも可能である。

委員 常に映像が流れている状態だとシアター前を人が通ったりして、映像を見ている人は気になってしまう。時間を区切って流すほうがいいのではな

いか。

設計者 設計を進める中で、スクリーンの位置を 1m50 c m ぐらいの高さまで上げることを考えている。その高さだと小学生ぐらいであればシアター前を通っても気にならないと思う。あとは運営上での対応になると思うが、学校の校外学習等の場合は、スイッチで映像を流せるようにできるような設計とする。

委員 そうすると管理人のような人がいて、映像を操作する形になるのか。

事務局 今後の運営の話になるが、いずれ管理人は必要になるので、そのような操作も管理人にしてもらいたいと考えている。

委員 小学6年生の子ども達に資料館にどのような展示を求めるか聞いてみた。今、話があったように実際に川を下るようなバーチャル映像や米俵を何俵積んで米俵の重さはどのくらいだったのか、舟頭が履いていた足半草履を実際に履いてみるといった体験できる展示という声が多かった。研究者用と子ども用の部分で説明が分かれているということだが、子ども達が自分でみて内容が理解できるような展示にしてほしい。

また、今後この資料館がアップデートされていくのか。新たな発見によって展示が変わっていくのか。子ども達が学習する時に新たな発見がある発展性のある展示となるのか。

事務局 今後ずっと同じ展示を続けていくことは考えていない。新たな発見があれば展示内容をアップデートしていくことは必要だと考える。しかし、予算が必要な部分でもあるので頻繁にアップデートというわけにもいかない。企画展示室を有効利用し、新たな発見ができるような資料館としていきたい。

事務局 かぐや姫ミュージアムを見学した時に、反省点の一つとして、壁面の展示を一枚に全てをプリントして張り付けたことで、展示内容の一部を変更したいという時に、壁一面のプリントを剥がさなければならないということ話を話してくれた。そのようなことも念頭に、アップグレードし易い設計を考えていただけたらと思う。

委員 富士川舟運以外にも全国に舟運があるので、子ども達に全国の舟運がわかるような展示も必要かと思う。また、先ほどから話があるように、資料館が完成した後も引き続き資料収集をしていただき、企画展や展示内容の更新がされると良いかと思う。

設計者 全国の舟運については、南側の壁面で紹介する予定である。

設計者 先ほどから話に出ている展示内容のアップデートだが、店舗の案内板では店舗の入替えが頻繁にあり、対応できるような提案を他の業務でさせていただいているので、そういうノウハウを活かしながら、本施設に有効な展示方法を考えていきたい。

委員 子ども達が1回行って全てわかって終わりではなく疑問が湧くような展示がされると良いかと思う。クイズ形式の子ども向け説明も全ての答えを記載するのではなく、疑問を提示して調べてみようと思うような展示もあるとおもしろいかなと思う。

委員 舟頭の生活という部分が何か展示できないか。舟頭はあまり裕福ではなかったのではないかと考えている。それを展示に加えてほしいという訳ではないが、子ども達が興味を持つ一つにならないかと考える。

委員 舟を曳いてくる時に舟頭が休憩する小屋が川沿いにはいくつもあった。そこで共同生活をしていた。

委員 河岸で陸揚げされた塩は、塩カマスに詰め替えられて陸送された。塩カマスは普通のカマスよりも少し大きめである。

事務局 歴史のある富士川舟運なので展示したい物は沢山出てくると思う。しかし、スペース的な問題もあるので全ては展示できない。先ほど発言があったように、これからずっと同じ展示内容という訳ではない。引き続き資料収集をし、企画展で新たな資料の展示等も行っていきたい。舟頭の生活や塩カマスについても資料が整えば企画展等で対応できればと考えている。

委員 会議の冒頭であった舟運か水運かについては、支流から木材等を運ぶことも含めれば水運という考えでいいが、今回の資料館では富士川を使って

安全に人やモノを運ぶ歴史という事なので舟運でよいか。

委員 異議なし

③その他

事務局 全体的なレイアウトや展示品については本日ご了承いただいたということで設計を進めさせていただく。また、以前から課題となっている高瀬舟の再現については、新しい町長の判断を仰ぎ次回2月頃の委員会で結果を伝えていきたい。

8 閉会